

令和7年度栃木県地域大学連携事業 最終報告会

栃木・相撲の伝統と健康をつなぐ未来プロジェクト

2026年2月6日 第1部

国際医療福祉大学 理学療法学科
学生代表：神野藤 茜、星 真悠子



取り組みの背景

栃木県は初代横綱 **明石志賀之助** を輩出した地域
プロ・アマチュアとも**全国で活躍する青少年を育成**している

相撲が**伝統的**に根付く地域である

-地域の抱える課題-

- 科学的・医療的支援体制の未整備
- 医療に関わる人材との橋渡しができていない

相撲を通じた

「伝統文化×健康支援×人材育成」の新たなモデル



本事業の目的



地域文化の継承/
価値の再発見



医療系大学の学生との
競技接点の創出



科学的視点をもった医療系人材育成と地域展開の起点の形成

医療系大学の人材 と 地域相撲団体・育成現場 をつなぐ

事業体制と対象

1.実施主体

国際医療福祉大学 理学療法学科

2.連携機関

- ・ 栃木県相撲連盟，大田原市相撲協会
- ・ 黒羽高校相撲部
- ・ 一般社団法人トップスターユニオン

3.対象

地域の小学生～高校生年代
相撲競技者
指導者，保護者

4.体制

- 学生（1～4年生） 14 名
- 指導教員 7 名

地域に根ざした相撲文化と大学の専門性を融合し，持続可能な支援体制

活動報告

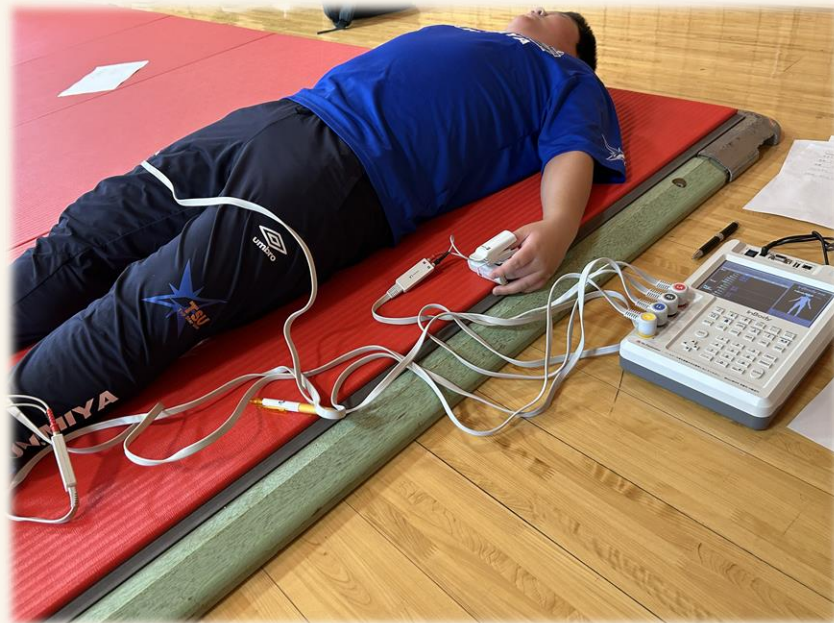


活動報告①：トレーニング指導機会

- 選手へのトレーニング指導，栄養指導
- 健康チェック など

10回+

年間実施回数



活動報告②：計測会の実施

相撲競技者の身体機能と運動特性を評価する計測会／健康相談会を実施予定

測定項目

- 体組成測定（筋肉量・体脂肪率）
- 立幅飛び、垂直跳び
- 敏捷性テスト（短距離、アジリティ）
- 握力、足趾把持力

- 選手・指導者へのフィードバック
- 保護者への健康啓発を実現

大学生も、のべ20名程度参加

60+

延べ参加者数

小学生から高校生まで
保護者の健康相談

2回

年間実施回数

夏季・冬季



活動報告③：学内での広報活動

卒業研究としての発表

「相撲競技者の体組成と身体機能に関する研究」をテーマに学内で発表

多面的な波及効果

地域連携活動が研究・教育・社会貢献の三側面に広く波及



相撲×地域活動 に興味を持つ学生が増えてきている

既に次年度卒業研究で相撲に関わりたい学生が複数名！



学科長賞を受賞

活動報告④：テーピングの指導

講習会の概要

- ケガ予防のための基本テーピング技術
- セルフケアの方法
- スポーツ障害への対策（特に膝を中心に）
- 実践的なデモンストレーション

地域事業補助金を活用

専門的かつ実践的な学びの機会を提供



活動報告⑤：専門講師の招聘 栄養セミナー

スポーツ栄養の専門家に学ぶ、相撲のための「食育」

- 健全な成長を支える食事の内容、摂り方
- 自分で「考えて食べる」をテーマに
- 実際の調理実習での体験

小・中学生が自発的に自身の栄養管理する場を支援

自分でできる＝持続可能性を高める



今後の活動における展望・目標



計測会イベント、栄養セミナー後のフォロー

さらなる関わり方の向上を図るために継続支援をしたい



活動の継続・拡大

地域施設を活用した「健康支援イベント」活動範囲を継続・拡大



科学的探究の継続

測定データを活用した研究・教育活動を継続し、学術的知見を蓄積



モデル確立

将来的には「地域スポーツ×健康支援モデル」の確立を目指す

